



崎陽軒と福井県の食を通じた連携について懇談



議員懇談会であいさつする八木会頭

12 月度議員懇談会を 12 月 1 日午前 11 時から福井商工会議所ビルで開催し、77 名が出席した。

冒頭、議員懇談会に先立って開催された常議員会で承認された 7 委員会の委員長と 9 部会の部会長の委嘱が行われた。（各委員会の正副委員長と各部会の正副部会長は次ページを参照）

開会のあいさつに立った八木会頭は、当所の委員会・部会について、事業者の生の声をしっかりと吸い上げ、意見を集約し、国・県・市への提言や要望活動に繋げることで、施策に反映させる重要な役割を担っている。商工会議所活動の根幹を成す活動であり、社会の変容に対して会議所自らが能動的に

チャレンジしていくために、委員会・部会活動の活性化に期待を述べた。

また、11 月 16 日に開催した永年勤続優良従業員表彰式・創業永年企業表彰式を振り返り、長年にわたり事業の発展に寄与してきた従業員や経営者に対して敬意を表した。（式典の詳細は本誌 63〜69 ページを参照）

加えて、11 月 26 日に当所で初めて開催した e スポーツ大会について、100 名を超える会員事業所の若手従業員が会議所ビルに集い、熱戦を繰り広げ、交流を深めた様子を紹介。次年度以降の大会の継続や、将来の規模拡大に向けて意欲を示した。（イベントの詳細は本誌 70〜71 ページを参照）

次に、(株)崎陽軒の野並晃社長が「北陸新幹線を見据えた崎陽軒と福井県の取り組みについて」をテーマに講演した。同社はシウマイを主力商品として首都圏を中心に事業を展開している。近年「崎陽軒ブランド」を活かした地域との連携強化に積極的に取り組んでおり、2021 年 9 月には、同社の創業者の生誕の地である栃木県鹿沼市の駅前にシウマイ像を設置。シウマイでの町おこしを目指して、市内の約 60 店舗の飲食店にシウマイの提供を開始。2022 年 7 月には福井県と相互協力



食を通じた地域連携について講演する野並社長

協定を締結し、シウマイの具材にへしこや九頭竜まいいたけなど、県産食材を使った新商品を開発するワークシヨップ「フクイシウマイ企画」を開催。飲食・食品業界から大きな注目を集めた。

今後について野並社長は、福井県産食材を用いた弁当の企画・販売や、先述のワークシヨップで開発したフクイシウマイの商品お披露目会の開催、北陸新幹線の福井延伸に合わせた記念弁当の発売などの新たな事業プランを紹介。福井県とのパートナーシップを強化し、食を通じた地域連携や情報発信に積極的に取り組んでいきたいと抱負を述べた。

委員会 正副委員長名列

特別委員会

組織強化・運営委員会

委員長 光野 稔
副委員長 北野 耕一

常任委員会

中小企業経営強化委員会

委員長 川口 孝誠
副委員長 八木 信二郎

県都みらい創造委員会

委員長 佐野 俊和
副委員長 蓑輪 一範

委員長 梅田 憲一
副委員長 大森 伸夫
委員長 瀧波 成嘉
副委員長 岩本 裕夫
委員長 岩佐 大秀
副委員長 宇野 善典
委員長 吉岡 正盛
委員長 三木 讓

グローバルビジネス・交流委員会

デジタル×イノベーション委員会

委員長 清川 肇
副委員長 大壁 勝洋

委員長 高畠 勝之
副委員長 佐藤 浩一

福井の魅力発掘・発信委員会

委員長 池内 昭彦
副委員長 茂原 康之

持続可能な社会共創委員会

委員長 山本 晃司
副委員長 長谷川 智洋

委員長 小川 明彦
副委員長 数馬 奈穂子
委員長 村田 良昭
副委員長 田中 香苗

【委員会の役割】

議員によって構成された組織で、商工サービス業の発展を図るために、企業や地域の課題等、重要事項の調査・研究を行います。

部会委員会 正副部会長名列

理財・情報部会

部会長 岡本 一夫
副部会長 梅田 憲一
部会長 高畠 勝之
副部会長 池内 昭彦

繊維部会

部会長 野坂 鐵郎
副部会長 藤原 宏一
部会長 村上 真一
副部会長 川田 浩司

工業部会

部会長 江守 康昌
副部会長 中山 浩行
部会長 宇野 善典
副部会長 清川 肇

建設部会

部会長 伊藤 仁一郎
副部会長 村中 美紀夫
部会長 村田 良昭
副部会長 齊藤 泰輔

観光・サービス部会

部会長 北野 耕一
副部会長 清水 嗣能
部会長 開発 毅
副部会長 長谷川 智洋

交通・運輸部会

部会長 浮田 啓三
副部会長 蓑輪 一範
部会長 岩本 裕夫
副部会長 野尻 貴巨

食料品部会

部会長 安田 泰三
副部会長 太田 芳一
部会長 川口 孝誠
副部会長 松宮 幹雄

流通第一部会

部会長 玉木 誠
副部会長 上坂 泰啓
部会長 茂原 康之
副部会長 八木 信二郎

流通第二部会

部会長 前側 宏
副部会長 小川 明彦
部会長 石田 正則
副部会長 大森 伸夫

【部会の役割】

業種別に組織され、業界の共通の課題に対して研究を行う他、関係機関に要望等を行います。

事業開催結果

11.19~27 ふくトック観光ツアー

担当／地域事業・観光振興課



小型電動カート「ふくトック」に乗車して足羽山周辺の歴史やパワースポットを周遊する観光ツアーを実施。北陸新幹線県内延伸を見据えた実証実験として今回が2回目の開催。参加した家族連れなどは、ガイドの解説に耳を傾けながら、紅葉が美しい足羽山の景色を楽しんだ。

利用者／240名

運行場所／足羽山周辺

11.14 小売業向け 価格転嫁対策セミナー

担当／創業・経営支援課



経済学と心理学を合わせた「行動経済学」を取り入れた販売戦略セミナーを開催。客単価が上がる価格の提示方法や、購入につながりやすい商品構成・表現について紹介した。受講者は人が感情に左右され、必ずしも合理的な判断をしないことをクイズ形式で体感した。

受講者／30名

会場／福井商工会議所ビル 会議室 AB

講師／グローバルマーケティング(株) 代表取締役CEO 今井進太郎氏

11.29 今さら聞けない！決算書の 読み方・活かし方

担当／金融・会計相談課



損益計算書、貸借対照表それぞれの構成から、重要性の高い財務指標6項目に加え、実務上知っておくべき5項目を取り上げ、財務指標から分かる課題の捉え方とその改善策について、金融機関の目線も交えて解説。講師は決算書から自社の現状を把握するよう呼びかけた。

受講者／102名

会場／福井商工会議所ビル 国際ホールおよびオンライン

11.17 北陸道サービスエリア バイヤーとの商談会

担当／創業・経営支援課



北陸自動車道のサービスエリアを管理・運営する企業のバイヤーと会員企業との商談会を開催。参加企業は試食やサンプル、パンフレットを用いて自社商品の長をアピール。バイヤーは提案商品に対して、購入客層の確認や商品パッケージの改善を助言するなどした。

参加企業／21社 参加バイヤー／6社

商談件数／51件

会場／福井商工会議所ビル 国際ホール